

令和5年度運輸安全マネジメント検証と対策

1.令和5年度検証

今年度の物損はフロントガラスの飛び石が2件、バックによる物損事故1件、接触有責事故1件がありました。飛び石における事故は不意によるものです。バック事故、接触事故も無理をしない運行を最優先していたならば防止できたと思えますが判断力の観点からも「確認」という作業を省力しないことの意識が欠如していたものと推測します。総括としては有責物損事故、有責接触時事故の2件だけで終わり、まずまずの1年であったと思えます。(もちろん人身、死亡事故はなし) 当然ながら0件を目指すことが目標であります。現実的に0件は難しい中、より高い目標を設定していきたいと考えます。課題を取りあげるとすると運行管理の問題があったように思います。新型コロナウイルス5類以降、人流が活発化され、インバウンドも含め需要が戻ってきたことにより運行管理部の配車計画、指示の遅れがありました。そのために乗務員への負担がかかり安全面に問題が生じる可能性があったことは否めません。配車、運行管理は一人で行うほうが効率的であり今年度は組織改正を行いました。やはり運行管理においてサポートする体制を再構築する必要がありますので来年度は見直しを図ってまいります。最後にクレームが3件あり目標に届かないばかりか内容も運行経路の確認不足、一時不停止、車間距離不足など乗務員の怠慢によるクレームとなっており大変残念な内容でプロとしての自覚と意識向上を教育することが要求されています。

<令和5年度物損事故・車両故障内容>

- ① 20号車バックによる有責事故 574,706円
- ② 80号車、ブレーキセンサー不具合による故障1件
- ③ 50号車、酒田駅での接触事故(停車している自家用車に接触)

<主な経費実績(令和5年度)>

車両システム(バス紀行)	396,000円
アルコール検知器	66,000円
適性診断	19,200円
月一回の安全会議	36,400円
塩害車両修理	3,220,000円
新車、中古購入(大型2台)	63,000,000円
健康診断(SAS含む)	228,800円(年2回実施)
運行管理者・整備管理者講習	20,000円
脳ドッグ(高血圧の乗務員)	178,200円
ホームページリニュアル	256,300円

2.総論

- ① 連続運転は2件あり、中途採用の社員の1件は初任研修時の指導不足
- ② 物損事故は2件であり目標を達成
- ③ 車両故障が1件ありブレーキセンサーの故障です。目標は達成
- ④ 安全会議はドライブレコーダーによるヒヤリハットの指導を非常に多く増やし、事故の分析ができフィードバックすることができたことはよかった。また新型コロナウイルス5類以降、対面での研修も可能になり本間病院看護師による健康指導も行えた。
- ⑤ 積極的に山形県バス協会の研修に参加するようし、多くの社員が満遍なく参加できた。
- ⑥ 安全指導では1/2の航空機事故のCAの緊急誘導を参考に机上でなく実技にて2,3月に行い、より実践的に行うことができたのは非常に自信と充実を持つ研修を行えた。
- ⑦ 乗務員と運行管理においては配車、運行管理を一人で行うように組織改正したがあまりにも負担が生じ、最後には乗務員への配車計画の遅れがあり課題が残った。
- ⑧ 高速道路協議会、社内の表彰を増やし、乗務員のプロ意識を維持させる取り組みを積極的にしたことが非常に良かった。また自動車安全センターより優良安全運転事業者の「金賞」を受賞し表彰されました。
- ⑨クレームが3件あり目標の1件に届かないばかりか内容も乗務員の怠慢と危機意識の欠如によるものであり大変憂慮すべき結果と内容になってしまった。

3.改善策

- ① 今年度目標は重大0、物損2件→来年度目標は重大0、物損1件の目標
- ② 事故ゼロは我々の最大目標であるため、1件でも減らすよう安全会議をより多く開催し運行管理、手配、乗務員一同、事故ゼロに向かって業務の在り方を見直す。
(例：お客様からの最終コースをより早くもらい、乗務員により早く渡す。渡すことにより乗務員がより行程の打ち合わせができるため内勤と乗務員のコミュニケーションの強化
→ラインワークスを活用し、修理点検の計画の可視化、共有。様々な情報の共有
- ④ 無線をIP無線に全車切り替え、GPSによる位置把握、点呼、連絡の運行管理をより充実させる。
- ⑤ 運行管理者の負担軽減を考慮し自動点呼を導入、配車計画の遅延をなくす。4/10頃開始
- ⑥ 塩害による修理は整備会社に3ヵ月、車検時にチェックするよう再依頼する。またエンジントラブルにならぬよう、点呼時に整備について細かく指導、確認する。
また法改正によるナット、ボルトの緩みの点検表を確実に記入するとともに整備管理者にしっかり保管、管理をさせる。
- ⑦ クレームの内容を分析するとプロドライバーとしての役割を理解していないことが分かりプロとしての自覚、模範運転、役割を再教育していく。

4 目標/数値

- | | |
|-------------------|---------------|
| (1) 重大人身事故（第一当事者） | 0 件（5 年度 0 件） |
| (2) (1) 以外の人身事故 | 0 件（5 年度 0 件） |
| (3) 有責物損事故対前年 | 1 件（5 年度 2 件） |
| (4) クレーム件数 | 1 件（5 年度 3 件） |
| (5) 車両故障 | 1 件（5 年度 1 件） |
| (6) | |

5. 予算案

- | | |
|-------------------------|--------------|
| (1) 車両管理システム（バス紀行） | 400,000 円 |
| (2) 外部講師、月一回の安全会議 | 50,000 円 |
| (3) 塩害による下回りの補強、シャシ塗装 | 3,000,000 円 |
| (4) 適性診断 | 30,000 円 |
| (5) 運行管理者・整備管理者講習 | 30,000 円 |
| (6) 健康診断（2 回） | 250,000 円 |
| (7) 新車購入（代替え）（マイクロ 1 台） | 10,000,000 円 |
| (8) IP 無線 | 2,000,000 円 |
| (9) 自動点呼 | 600,000 円 |
| (10) アルコール検知器 | 70,000 円 |

令和 6 年 4 月 1 日

安全統括者 池田 新